



避難所のようす(7月7日・花里小学校)

地域の結束と素早い対応

今回の豪雨では、市内78カ所の避難所を開設しました(一時避難所を含む)。

避難勧告や避難指示などに際して、町内会長や民生児童委員、消防団員、施設管理者など多くの地域の皆さまの助け合いにより、誰一人として命を落とすことなく安全に避難することができました。

避難所には、ピーク時(7月7日(土)午後9時)で、2,669人の方

が避難しました。

また、避難所への物資の提供や災害現場での土砂撤去など、災害応援協力協定に基づく応援をはじめ、市民・事業者の皆さまから多くのご支援をいただきました。

土砂崩れなど各地で被害が発生

記録的な豪雨により、市内各所で被害が発生しました。7月10日時点における被害状況は次のとおりです。

- 人的被害 1件
- 床上浸水 1件



市道牧ヶ洞八日町線で発生した土砂災害(7月6日)



苔川の護岸崩壊(7月6日)

- 床下浸水 12件
- 公園被害 10件
- 事業所被害 6件
- 農地・農業施設被害 421件
- 道路・河川・橋りょう被害 162件
- 林業施設被害 178件
- 上水道被害 401件
- その他被害 3件

国に早期復旧を要望

飛驒地域3市1村で構成する飛驒首长連合は7月12日、総務大臣や国土交通省幹部に対し、豪雨災害の早期復旧に対する支援を要望しました。



国への要望

- 東海北陸自動車道飛驒清見IC〈莊川IC〉の早期復旧の促進
- JR高山本線の早期全線復旧の促進
- 国道41号の早期全線復旧の促進
- 飛驒地域の各市村が行う災害復旧に関する各種事業に対する支援
- 道路・河川等の災害復旧事業の推進

問合せ先

危機管理課
☎ 35-13345